

Google Earth を使用してのお墓参りについて聞かせてください？

AI: Google Earth を使用してお墓参りを行うことにはいくつかのメリットがあり、理由は以下の通りです。

遠方のお墓への物理的なアクセス問題

: Google Earthは世界中の場所を仮想的に訪れることが可能なため遠くに住んでいる場合や移動が制約されている場合に、遠隔地のお墓を訪れる手段として役立つために有効と考えます。

様々な人々がアクセス

: Google Earthは世界中あらゆる方が簡単にアクセスできるため故人を偲び、思いを馳せ魂に触れることができます。

いつでもアクセス

: Google Earth を使用してお墓に気軽にアクセスできます。故人と繋がりたい全ての方に有効と考え、デジタル時代の新しい墓標のあり方と考えます。

記憶の保存とつながり

: Google Earth を使ってお墓を訪れ、故人の写真やメッセージがポップアップされます。現在テキストでのコミュニケーションですが今後は音声チャットでの故人との永遠の繋がりを可能としたサービスを構築します。

生成 AI を使った故人とご遺族のコミュニケーションの考え方をお聞かせください？

AI: まず私たちは残されたご遺族の心を癒すために必要なサービスと考えます。またいくつかの重要な倫理的な懸念も以下のように理解しています。

【メリット】

ご遺族の悲しみに寄りそう

: 故人のアバターとコミュニケーションをとることは喪失に対処するための方法として役立つとの思いから精度の高い交流は思い出を共有し、感情を表現し悲しみを少しずつ和らげるのに有益と考えます。

永遠の記憶

: 故人とコミュニケーションをとることはその人の思い出を生き続ける手段として機能します。ご遺族は特別な瞬間にアドバイスを求めることもでき、故人の存在を永遠に感じることができます。

リビングレガシー

: チャットや音声で伝えられる故人の言葉や教訓は、遺族によって大切に受け継がれ次代に伝えることができます。これにより家族の歴史や価値観が続くことが可能となります。また企業経営、事業継承にも役立つと考えます。

コミュニケーションの安定性

: チャットや音声を介したコミュニケーションはご遺族にとって感情的に安定した環境を提供できると考えます。故人の存在が変わらないため遺族は自分の感情を安心して表現できると確信します。

【デメリット】

倫理的懸念

: ご遺族と故人様のコミュニケーションが故人様を再生産する試みと見なされる可能性があります。このようなアプローチは倫理的にデリケートな領域であり、ご遺族の感情や意思を尊重する必要があると考えます。

合意とプライバシー

: ご遺族とのコミュニケーションを許可する前に、ご遺族の合意を得ることが重要です。また個人情報とプライバシーの保護にも留意する必要があります。

心の健康

: この種のテクノロジーが遺族の心の健康に対してどのような影響を及ぼすかを検討する必要があります。悲しみの処理に役立つかもしれませんが、悲しみからの利達の遅延など逆効果となる可能性もあると考えます。

AI の制限

: AI 技術は人間の感情や人間関係の複雑さを完全に再現することが不可能であると我々は考えます。ご遺族が本物の人間とのつながりを模倣されたアバターをどのように受け入れるかを慎重に考慮する必要があります。

当然これらのメリット / デメリットは個人や文化によって異なる場合があります。倫理的な考慮や感情的な側面を考慮に入れることが重要です。故人様とのコミュニケーションは慎重に扱う必要があります。最終的にこのアイデアを採用するかどうかは、故人とご遺族との個別の対話と合意に基づいて判断すべきと我々は考えます。倫理的なガイドラインとプライバシーの保護を尊重し、なにより残されたご遺族の心の健康を最優先に考えることが大切です。生成 AI を使った故人様との繋がりのその先に大切な人々がいまも集う天国の可視化はこれからの時代の新しい埋葬のありかたであり、心の帰結に繋がると確信しております。